



2023年第1四半期業績総括

2023年5月15日

取締役

代表執行役 Global CEO

石橋 秀一

2023年第1四半期業績総括

■ 第1四半期：2月想定対比事業環境悪化あるも、為替影響込で前年対比増収増益を確保

□ 米欧を中心とした景気減速による需要減が顕著となり、インフレなどによるコスト面マイナス影響も大きい事業環境下、主に、市販用タイヤにおいて：

1) 戦略的価格マネジメント

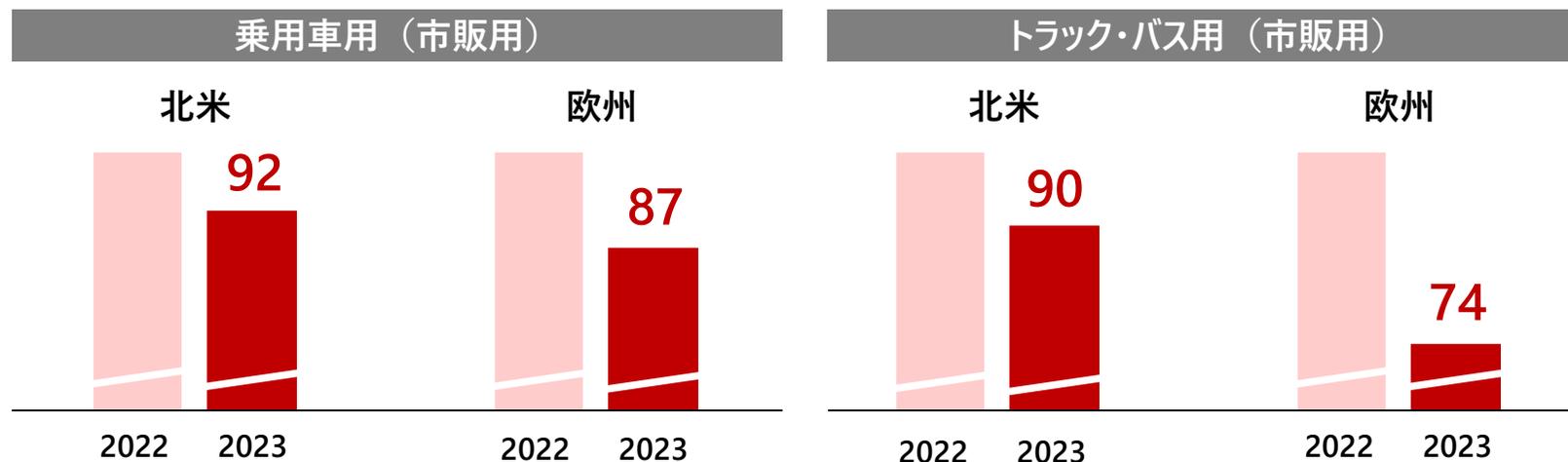
2) 販売MIX改善（プレミアム領域への更なるフォーカス／低採算領域の見直しを加速）

を継続的に徹底。収益の確保へ繋げる。

2023年第1四半期 タイヤ需要本数伸長率（前年比）

※2022年第1四半期を100とする

※当社推定値



■ 通期見込：2023年2月に発表した数値から変更無し

下期にかけて需要回復を見込み、

通期でプレミアム販売量（本数）アップと価格アップの両方を追求するスタンスは変えない

プレミアム販売量（本数）アップ × 価格アップ / 販売MIXアップのバランス最適化を常に志向

2023年第1四半期業績総括

■ 売上収益：+約1,530億円増収（117% vs 前年）

■ 調整後営業利益：+約160億円増益（116% vs 前年）

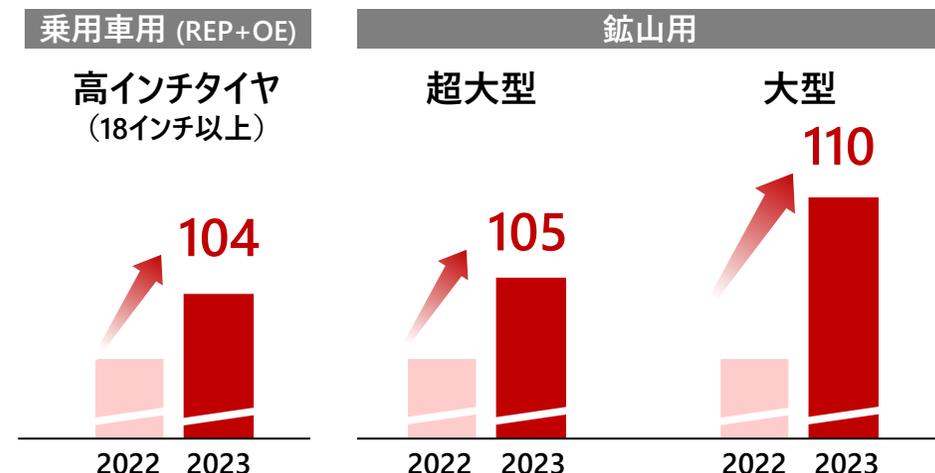
- 前年比で為替円安の追い風影響もあり増収、第1四半期において当社初の1兆円超を達成
- グローバルでのタイヤ販売は乗用車用・トラックバス用タイヤ双方において、前年同期比減少するも、プレミアム領域にフォーカスし販売強化。乗用車用プレミアムタイヤ（18インチ以上高インチタイヤ、内 20インチ以上「超」高インチタイヤ、各地域プレミアムタイヤ）のMIXアップを実現。鉱山用タイヤにおいて前年比で販売増を達成。
- 原材料価格・インフレ（エネルギー費、労務費等）等によるコスト面のマイナス影響を、売値・販売Mixの改善でカバー。需要減少による全体販売数量減影響あるも、為替影響あり、増益で着地。

(単位：億円)	2022年 第1四半期 実績	2023年 第1四半期 実績	前年比 (%)
売上収益	8,910	10,435	117
調整後営業利益	1,011	1,168	116
利益率	11.3%	11.2%	△0.2pp
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	538	905	168
-うち継続事業	654	907	139
-うち非継続事業	△ 116	△ 2	-

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

プレミアムタイヤ販売本数伸長率（2023年第1四半期）

※2022年第1四半期を100とする





免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。